



取扱説明書

EVO Lite



SUP'AIR - VLD
34 rue Adrastée
Parc Altaïs
74650 CHAVANOD
FRANCE

45°54.024'N / 06°04.725'E



エヴォライトをお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以来フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、30年以上に渡る技術革新とフィードバックによる成果を手に入れることとなります。また私たちの哲学は：より良い製品を開発するためにたゆまず努力しヨーロッパでの高い製造品質を保ち続けることです。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけの事を願っています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのHP(www.supair.com.)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

はじめに	4	ハーネスの調節	27
スペック	5	フライト中の挙動	30
サイズチャート	6	フライトの各段階	31
構成部品	7	レスキューパラシュートを使う	33
ハーネス外観図	8	トーイング	33
カラビナの取り付け	9	必須点検項目	33
座板の挿入	10	保守	34
バンプエアーの挿入	11	保証	36
アクセル(オプション)の取り付け	12	免責事項	36
フットレスト(オプション)の取り付け	13	フライト装備	36
レスキューのセットアップ	14	CE認証:パラグライダー用ハーネスのプロテクションに関して	36
スピードバッグ(オプション)のセットアップ	20	整備履歴	37



はじめに



パラグライディングの世界へようこそ！エヴォライトを購入することであなたは、あなたの視野を広げる手助けをし、新しいクロスカントリーへと誘うサーマルフライトを発見する完璧な製品を得たことになります。その大いなる快適性、バンプエア-17cm、シート下部に装備されたレスキューポケットによりどこでもどのようなソアリングコンディションでもこなすことができるでしょう。

この取扱説明書を読んだ後、最初にフライトする前に必ず、シミュレーターにぶら下がりてハーネスのチェックをしてください。

注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス

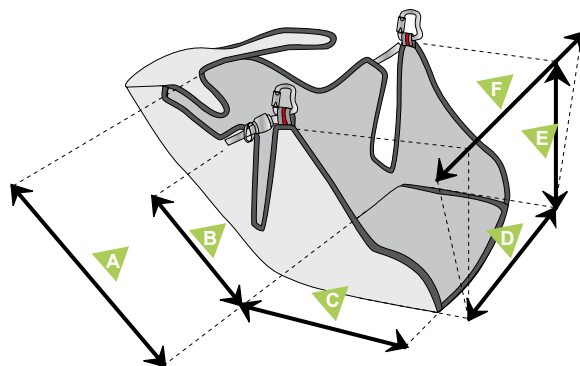


警告！



危険！！

	S	M	L	XL
パイロット身長	160-175 cm	165-185 cm	175-195 cm	195-205 cm
パイロット体重	50-75 kg	60-90 kg	70-100 kg	80-110 kg
ハーネス重量(バンプエア17cm、カーボン座板、オートマチックカラビナ2個含む)	3.60kg	3.75kg	3.90kg	4.05kg
A 背もたれ高さ (cm)	65	67	70	75
B リクライニング調節高さ (cm)	37	38	39	40
C シート深さ (cm)	44	48	49	51
D シート幅 (cm)	33	35	37	39
E カラビナ高さ (cm).	44	44	44	44
F カラビナ間距離 (cm)	39-50	39-50	39-50	39-50
衝撃吸収システム:エアバッグ(容量)	No			
衝撃吸収システム:バンプエアー(厚さ)	Yes(17cm)			
認証	EN 1651 - LTF			
タンデムフライト:パイロットーパッセンジャー	可能			
アクロバットフライト	No			
トーイング	Yes			
リリースカラビナ対応	No			



サイズチャート

ハーネスのサイズを選択することは大変重要です。以下に示すチャートはどのサイズが適しているかを手助けするためのものです。しかしながら最適なサイズを選択するにはシミュレーターにぶら下がり、実際に異なるサイズを試してみることをお勧めします。

Size Weight	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m	2m05		
50				S	S	S									
55				S	S	S									
60				S	S			M							
65				S			M	M							
70					M	M	M	M	L						
75					M	M	M	M	L	L					
80					M	M	M		L	L	L				
85						M			L	L	L				
90									L	L		XL	XL	XL	
95									L	L		XL	XL	XL	XL
100												XL	XL	XL	XL
105												XL	XL	XL	XL
110												XL	XL	XL	XL

XS

XS/S

S

S/M

M

M/L

L

L/XL

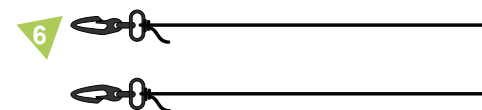
XL

構成部品

- 1 ハーネス本体

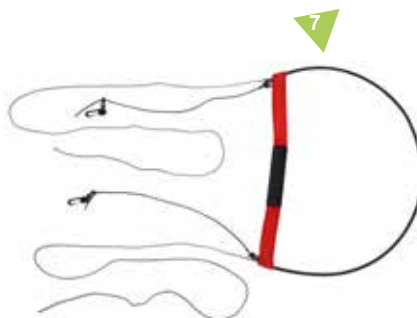
標準装備品

- 2 バンプエア-17XC
カーボン座板(サイズによる大きさは10ページを参照)
- 3 30mmジユラ製オートマチックカラビナ
- 4 レスキュートグル<E2>(商品コード:P0IE2)
- 5 アクセル引き込み用ゴムロープ



オプション装備品

- 7 スタンダード2段アクセル
- 8 エヴォライトXC3用スピードバッグ



ハーネス外観図

このイラストはこの取扱説明書の内容を理解する手助けとなります



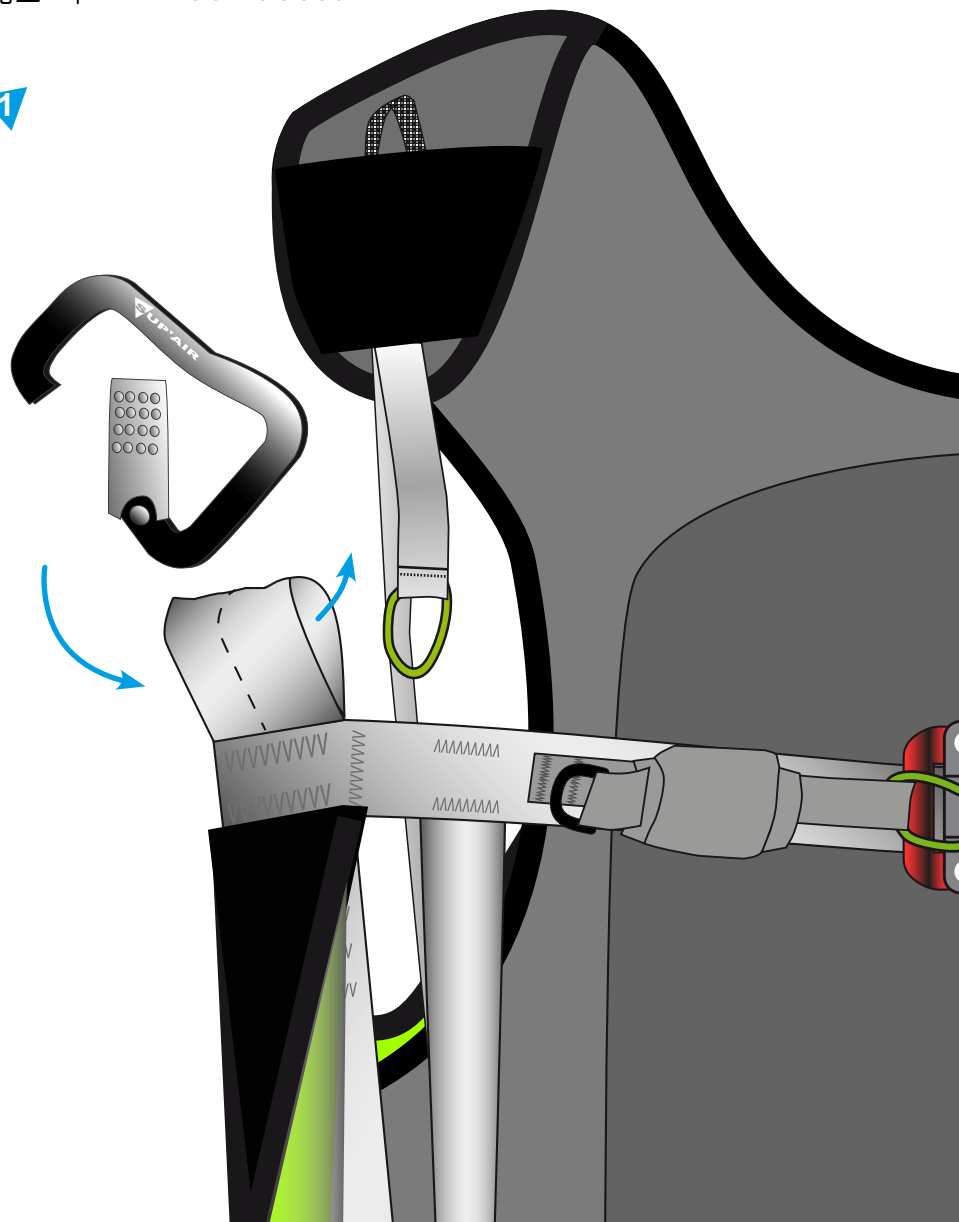
- 1 メインハングポイント
- 2 メインバックル
- 3 チェストベルト長さ調節
- 4 レッグベルト
- 5 リクライニング角度調節
- 6 肩ベルト長さ調節
- 7 座板角度調節
- 8 シート深さ調節
- 9 フットレスト取り付け用バックル
- 10 アクセルロープガイド
- 11 レスキュートグル
- 12 背部収納ポケット
- 13 バンプエアー収納ポケット

適合するカラビナ:

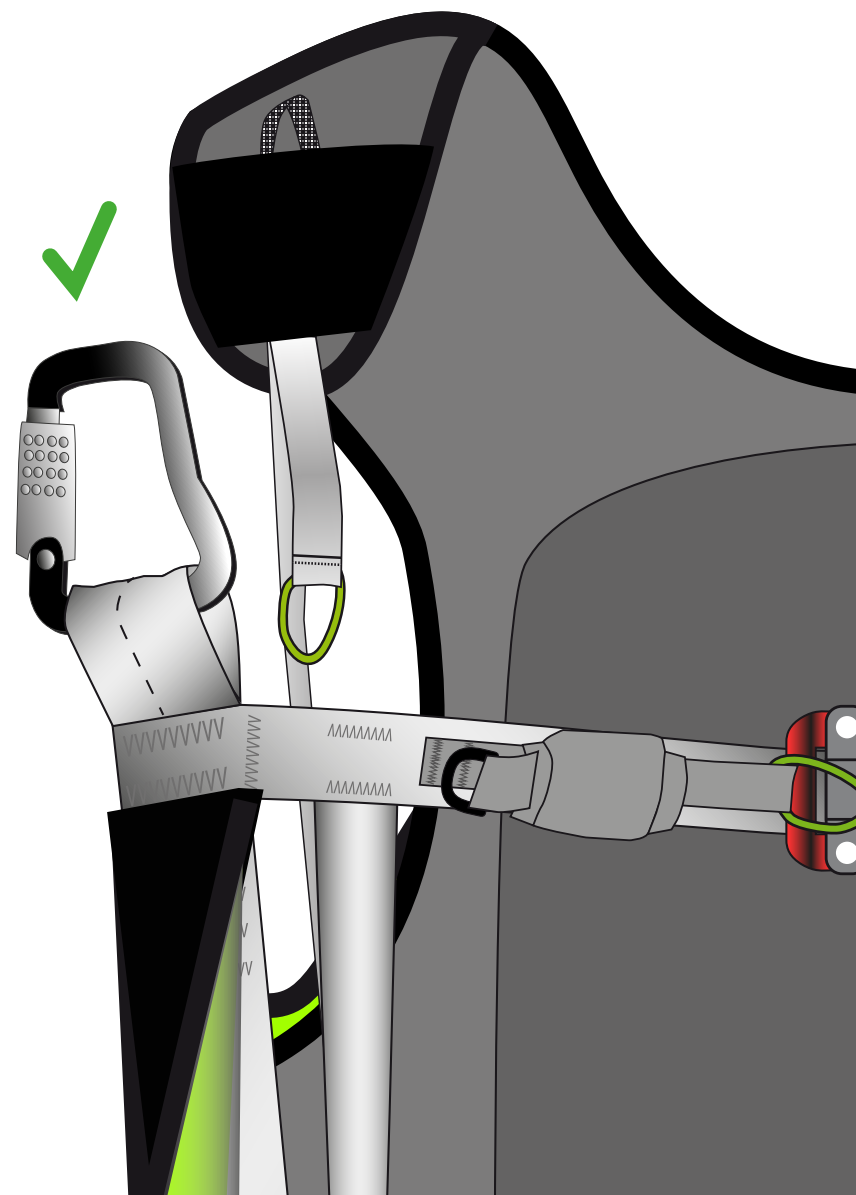
ジュラルミン製30mmカラビナ
商品コード: MAILCOMOUS30

カラビナの取り付け

1



2



座板の挿入



シート部分の後ろ側を持ち上げ座板の前方から挿入します。



シートポケットの奥まですっきりと座板を押し込みます。



奥まで座板が挿入されたら座板抑えフードをかぶせ、テープで固定します。



ハーネスサイズに対応する座板の大きさ

	Sサイズ	Mサイズ	Lサイズ	XLサイズ
カーボン座板	カーボン座板 S 33×34 商品コード: MPPL005	カーボン座板 M 35×37 商品コード: MPPL006	カーボン座板 L 37×37 商品コード: MPPL007	カーボン座板 XL 39×37 商品コード: MPPL008

バンプエアーの挿入



背部収納ポケット内部にある縦方向のファスナーを開けます。



バンプエアー17XCを隙間に挿入します。



バンプエアーをバンプエアー収納ポケット奥の仕切り壁まで押し込みます。

バンプエアーがポケットの奥までしっかり挿入されたらバンプエアーの上端を背部収納ポケットの裏側に挿入します。

バンプエアーがポケットに正しく挿入されたらファスナーを閉めます。

アクセセル(オプション)の取り付け

エヴォライトはほとんどのスップエアーハーネス同様アクセセルを取り付けられるように予め造作がされています。スップエアーの装備品の中でもスタンダードのアクセセルが軽量で自動収納式であるので最も適しています。

1 アクセルロープをガイドチューブ **D** に挿入します。

2 アクセルロープをプーリーに通します。

3 アクセルロープをサイドスカートにあるスリット **E** から外側へ出します。

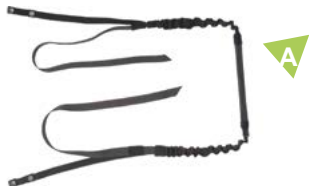
4 アクセルロープの端をブルンメルフックに接続します。ロープの長さを適切に調節した後、確実にロープをフックに締結します。

5 自動収納用ゴムロープ:D型バックルに通してからハーネス内部に縫製されている白色のテープ **F** に接続します。

6 フットレストを使用しない場合は、サイドスカートをアクセセルガイドチューブ **D** を巻き込むように折りたたんでホックで止めておきます。



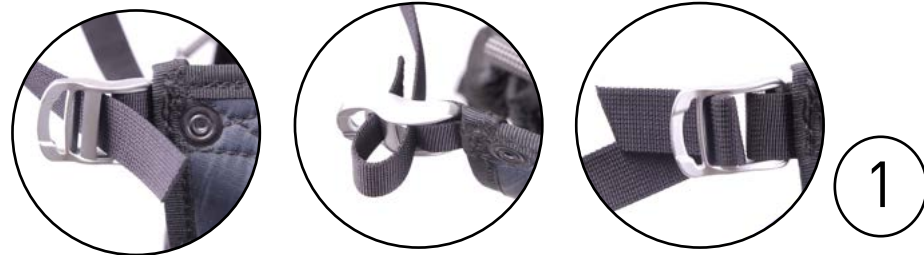
フットレスト(オプション)の取り付け



エヴォライトは予め自動収納フットレスト20mm(A)が取り付けられるような造作がなされています。



ハーネスのサイドスカート前方に取り付けられているバックル(B)にフットレストのテープを差し込みます。



ゴムテープをガイドループ(C)に通します。

2



内側から見た画像

ゴムテープをハーネスのメインテープに縫製されたループに通してメインテープに巻き付けホックで固定します。



外側から見た画像

3



シミュレーターにぶら下がってフットレストの長さを調節し、余ったテープをゴム製スリーブに納めます。

4

レスキューのセットアップ



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキュートグルをインナーコンテナに取付ける:



1. 図のようにレスキュートグルをインナーコンテナの中央のループにヒバリ結びで接続します。
2. ヒバリ結びをきつく締め上げ、接続が強固であることを確認します。

パッキングサイズの大きいレスキュー（サイドのループを使用します）を除いてレスキュートグルはインナーコンテナの中央のループに接続してください。レスキューのセットアップが完了したらトグルを引いて、コンテナを閉めている2つのクローズ用ケーブルが正しく抜けるかの確認をしてください。

レスキューブライダルガイド用スリーブのセットアップ:

レスキューブライダルガイド用スリーブファスナーをしっかりと開き切ります。



レスキューブライダルをハーネスに接続する:

ダイニーマ製ブライダルを左右それぞれのハーネス接続ループにヒバリ結びで接続します。



ダイニーマ製ブライダルにレスキューを接続する:

7mm径のステンレス製ラピッドリンクを使用してブライダルとレスキューを接続します。Oリングを使用してブライダルがずれないようにしっかりと固定します。



ヒバリ結びでしっかりとハーネスに接続されたダイニーマ製ブライダル



ブライダルをきちんとガイド用スリーブに納める



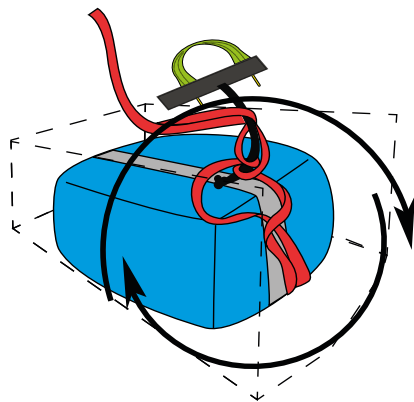
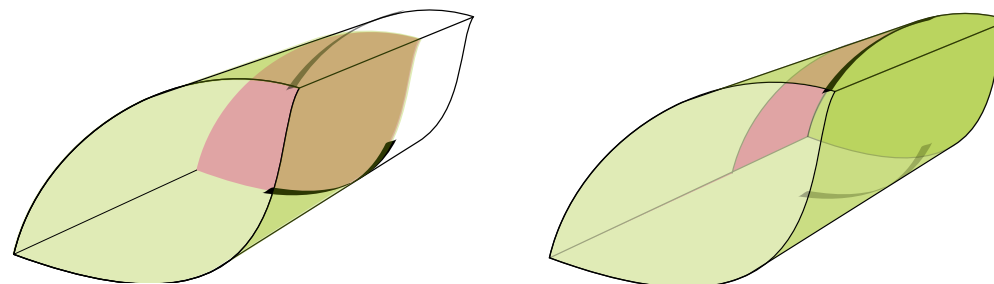
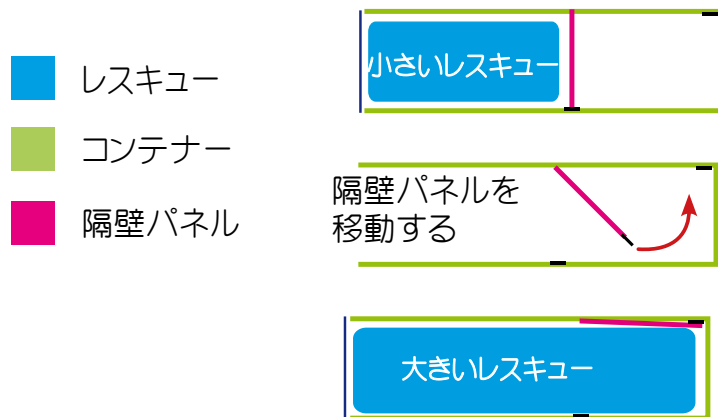
コンテナの容量を調節する:

レスキューのサイズに合わせて、コンテナ容量を調節するための隔壁パネル(図で赤く示される)がレスキューコンテナ内部(図で緑で示される)に取り付けられています。

ベルクロ(図で黒く示される)により隔壁パネルは所定の位置に固定されます。

>>切り出した図

>>3D図



レスキューのサイズとコンテナの容量がぴったりと合っていない場合(レスキューのサイズがコンテナ容量に比べて小さい場合)、ハーネスを使用している間にレスキューがコンテナの内部でひっくり返ったりする可能性があります。

そうするとブライダルがレスキュートグルの周りに絡みつきレスキューの開傘を妨げる危険性があります。

ブライダルガイド用スリーブを閉めるには...



スライダーがレスキューコンテナの端まで到達しそれ以上下がらなくなったら、スライダーを持ち上げファスナーを閉めていきます。



... ファスナーのスライダーをレスキューコンテナの位置まで引き下げる...



レスキューをコンテナに収納します。トグルはシート側、ラインとライザーはコンテナ外側に向くようにしてください。収納をしやすくするためにガイドロープを用意し、そのガイドロープをNO.1のループに通します。



ガイドロープをNO.2のハトメに通します。

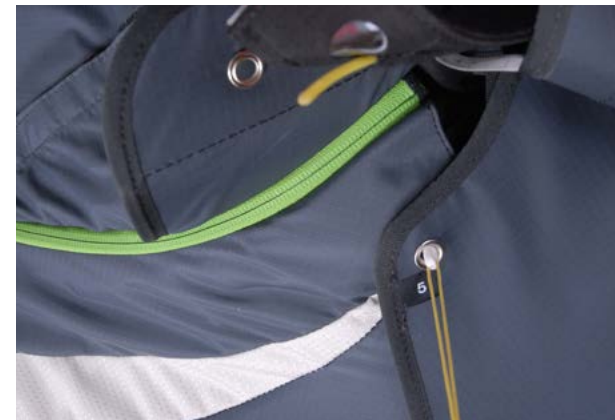




ガイドロープをN0.3のハトメに通し、トグルについているクローズ用ケーブルをN0.1ループに挿入します。ケーブルとトグルの端をN0.3のネオプレンフラップに納めます。



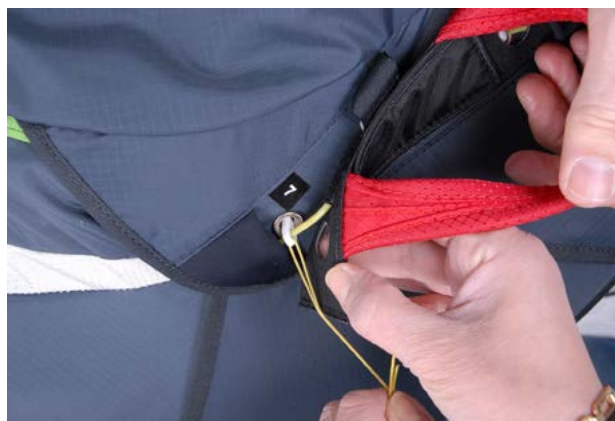
ガイドロープをN0.4のループに通します。



ガイドロープをN0.5のハトメに通します。



ガイドロープをN0.6のハトメに通します。



ガイドロープをN0.7のハトメに通して引き上げてN0.4のループを引き出し、そのループにトグルについているクローズ用ケーブルを挿入します。



ケーブルとトグルの端をN0.7のネオプレンフラップに納めます。



ファスナーズライダーは左肩口の末端にある収納スリーブまで締め上げ収納します。

上からみた図



クローズされたレスキュー
ブライダルガイドスリーブ

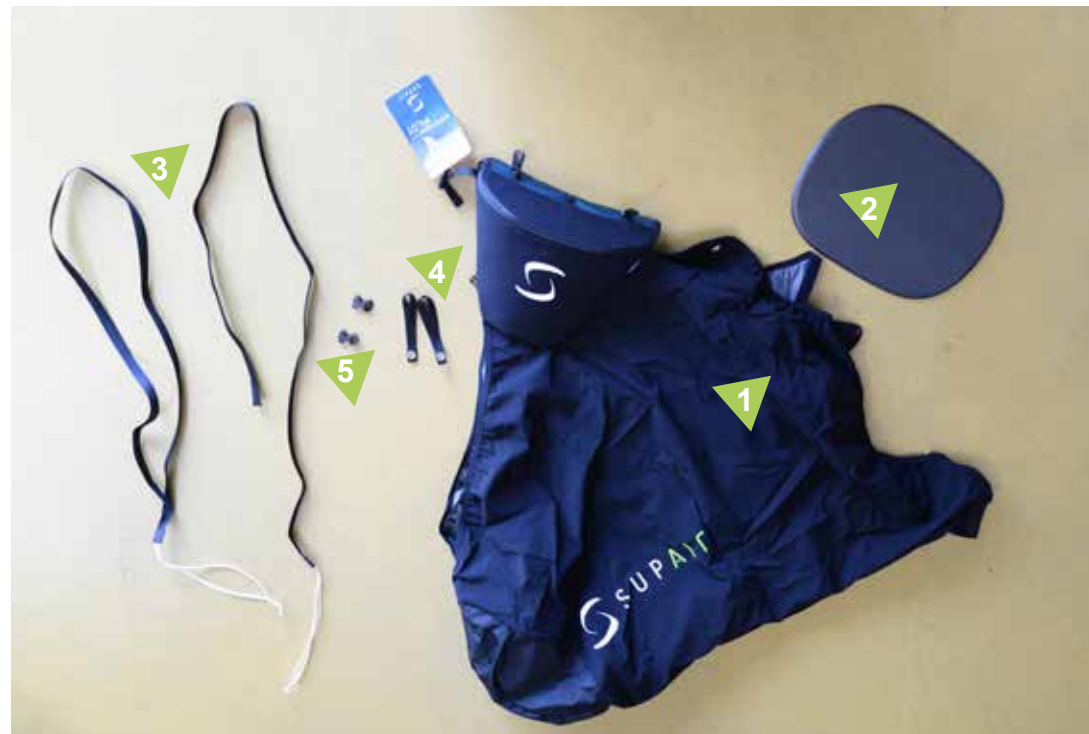
レスキューブライダル
ガイドスリーブ

レスキューが収納されたハーネスの外観

レスキューの収納が完了したらシミュレーターにぶら下がり、必ずレスキューの引き出しテストを実施し、問題なくレスキューが引き出されることを確認してください。その後、再度レスキューを収納してください。

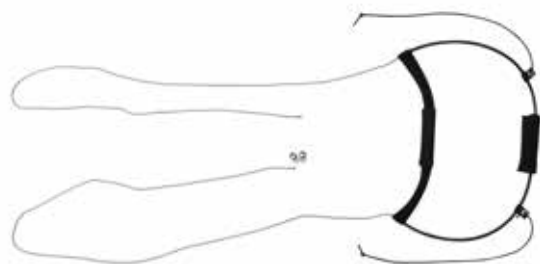
スピードバッグ(オプション)のセットアップ

- 1 エヴライト用スピードバッグ
- 2 カーボンフットプレート
MPT010 (S, M) / MPT1024 (L, XL)
- 3 調節テープ
- 4 テーブループ
- 5 15mmメスバックル



オプション

スピードバッグ用2段アクセル



4番のテーブループを左右両サイドのカラビナ取り付けポイントに組み込む



外側から見た図(組み込み完了後)



内側から見た図(組み込み完了後)

フットプレートの挿入



1



2



3



4



5



6



7



8 左側



9 右側



ハーネスの装着



テイクオフ前に、ハーネスの調整をしておくことは極めて重要です。



ハーネスの調節



全ての調節は初めてフライトする前にシミュレーターにぶら下がって行ってください。

肩ベルトの調節

肩ベルト先端に縫い付けられているループコード **1** を前方(あるいは下方)に引くことでベルトが締まります。

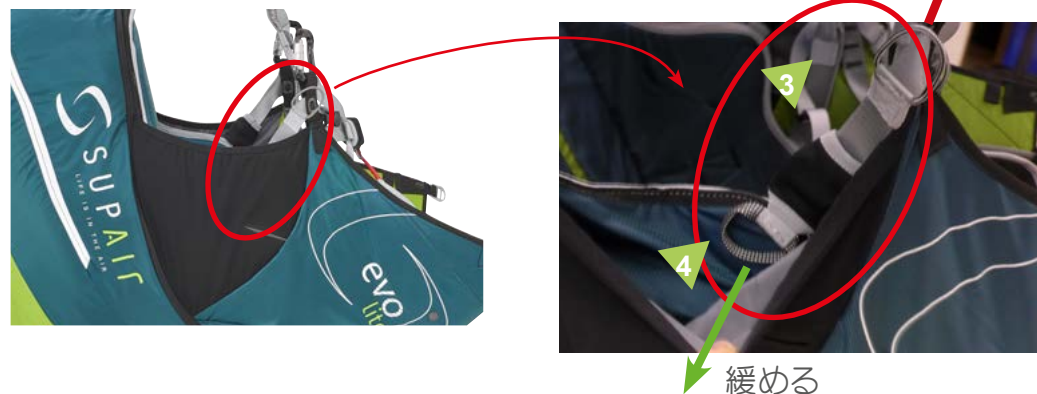
チェック柄のテープ **2** を後方へ引くことでベルトは緩みます。

肩ベルトの長さは快適性に大きく影響します。サイドテープ(肩ベルトがずり落ちないようにホールドするテープ)と肩ベルトの絶妙な長さのコンビネーションを見つけてください。リクライニング姿勢を取ったときにも肩ベルトが上半身をサポートして快適性に寄与します。



リクライニング角度調節

ループコード **3** を引き上げたり(リクライニング角度が緩くなりより上体が立った姿勢になる)、チェック柄のテープ **4** を引き下げたり(バックルが緩んでリクライニング角度がきつくなり上体が寝た姿勢になる)して角度を調節します。



チェストベルトの調節



この調整はABS(アンチバランスシステム)に影響を与え、その結果ハーネスの総合的な安定性にとって重要になります。締めればそれだけ安定性は増し、緩めればそれだけ安定性は減少しますが体重移動がし易くなります。

チェストベルトを締めるには:

右腕をライザーの前を通して左側のカラビナをつかみます。

右腕を右に引きカラビナ間距離を縮めながら、ループコード **1** を左手で左に引きチェストベルトの長さを短くします。

チェストベルトを緩めるには:

左腕をライザーの前を通して右側のカラビナをつかみます。

左腕を左に引きカラビナ間距離を縮めながら、ループコード **2** を右手で右に引きチェストベルトの長さを長くします。



座板の調節

座板の角度を調整することで快適さとホールド感を変えることができます。

座板の前部を持ち上げてホールド感を上げるには、膝を上を持ち上げ調整ベルトのテンションを下げ(調整ベルトが引きやすくなります)、調整ベルトの先端を引き下げます。

座板の前部を下げるには、膝を持ち上げ調整ベルトのテンションを下げ、調整ベルトのバックルを上を持ち上げるようにしてベルトを緩めます。



シート深さの調節

フットレストを使用してリクライニング姿勢でのフライトにはシート深さを浅く、直座姿勢に近い姿勢でのフライトにはシート深さを深くするのが一般的です。

シート深さを浅くするには：
フットレストに足を置き、突っ張りながらお尻を持ち上げ（こうすることでベルトのテンションが緩まり調整しやすくなります）、調整ベルトの端を引き上げます。

シート深さを深くするには：
調整用バックルをずらしてベルトを緩めます。



フライト中の拳動

エヴォライトハーネスはグライダーの拳動の伝達と安定性(特にチェストベルトを締めた場合)の絶妙なバランスを持っています。

エヴォライトは安定性があり非常にマイルドな特性を持っています。そのABS(アンチバランスシステム)は特に高めの吊り位置及びクロスシステムが採用されているため大変有効です。

剛性の高い背もたれは圧力を適度に分散し、長距離フライトも快適にしてくれます。



プレフライトチェック



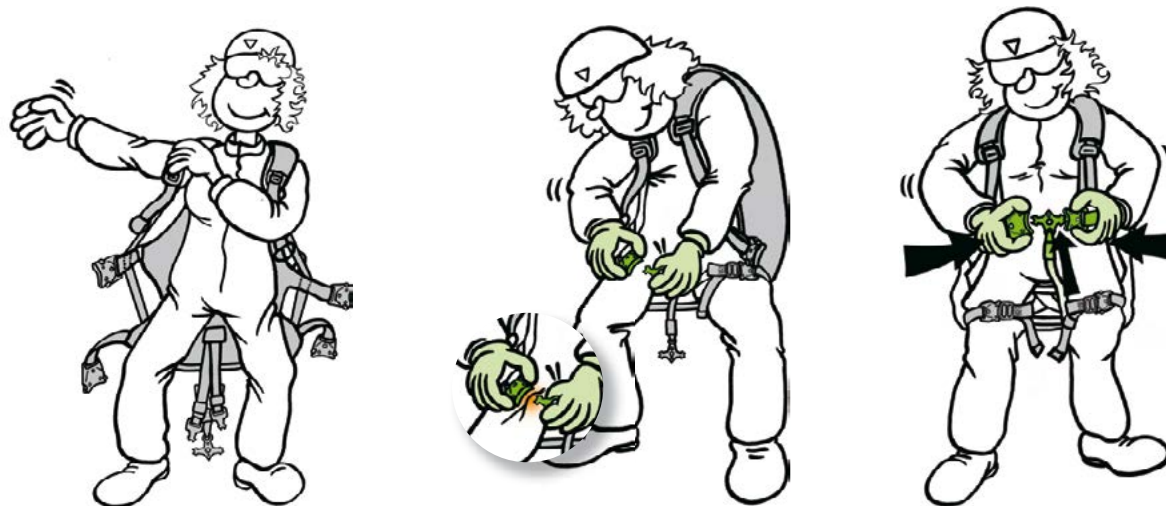
- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック
- レスキューグルのケーブルが確実に、閉じループを通過してコンテナが正しく閉められているかチェック
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック
- 全てのファスナーおよびバックルが正しくしめられているかチェック
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック
- レスキューグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック
- アクセルロープがレスキューグルに絡んでいないかチェック

テイクオフ



気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着し次のステップへ進みます:

- ベルト(レッグ、セーフT、チェスト)のバックルを確実に締める。バックルがウエアーを挟み込んでいないか慎重にチェックすること(飛行中にバックルが突然開放する危険性があります)。



- テイクオフ直後は立ち姿勢を保ち、斜面から十分離れてからハーネスに腰を入れ座ります。



斜面近くでは決してブレークグルから手を離さないように。

空中



カラビナ間距離は気象条件に合わせ、またグライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用

グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。グライダーの取扱説明書を参照してその使用方法をよく理解してください。



アクセルは、乱気流により敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります。



アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。

ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときに目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。

強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。

着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために右手をライザーに沿って下ろすことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にするのが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でないあるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。



レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。

力強くレスキュートグルをサイド方向へ引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレイクを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。

リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。

トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検項目

6か月ごとの点検



- レスキューパラシュートの引き出し検査（トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか）。
- ハーネス全体の状態の検査

1年ごとの点検



- 専門家によるレスキューパラシュートのリパック（パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合）。

洗濯および手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境(ダート、砂など)で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します:中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。油は塗らないこと!

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。

ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください。

- テープ類(摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
- バックルおよびカラビナの状態(摩耗、クラック、正しく機能しているか)
- バンプエアー・プロテクションの品質(大きな衝撃を受けるごとに)。大きな衝撃を3回受けるか5年経過するかどちらか早い時期に交換するように忠告します。



エヴォライトに使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的な検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです。



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外(登山やトーイングなど)には使用することはできません。

修理

このハーネスには最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スプエアーは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールで sav@supair.comまでお問い合わせください。

交換部品

- ジュラルミン製オートマチックカラビナ30mm (商品コード:MAILCOM0US30)
- カーボン座板 (商品コード:MPPL005-008 ハーネスサイズによる)
- レスキュートグル (商品コード:E2)

素材

生地
ポリアミド210Dリップストップ
テープ
ポリエステル25mm、28mm (1250daN)
ポリアミド15mm、20mm、25mm、40mm

スプエアーのハーネスはヨーロッパで製造されています。また、使用されている素材・パーツの大部分はヨーロッパ製です。

リサイクル

全ての素材は、技術上および環境に対する特性から選択されています。我々のハーネスの構成素材は全て環境に危害を与えません。ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。
もしあなたのハーネスが、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品のリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地元の機関にお問い合わせください。

保証

スップエアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スップエアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し5年間(購入後)保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。スップエアーのハーネスに組み込まれている安全装備は平均気温-10℃から35℃の範囲内で保障されています。フォーム状プロテクションの寿命は5年あるいは大きな衝撃を3回受けた時になります。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。スップエアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用デザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

フライト装備

CE認証:パラグライダー用ハーネスのプロテクションに関して

如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



プロテクションの改造あるいは間違った使用方法は安全装備の性能を危険となるほど低下させ、機能が失われることに注意してください。

プロテクションの効果はプロテクションが存在し適切に組み込まれている場合にのみ発揮されます。従ってプロテクションが脱着できるものである場合は、それが適切な場所に組み込まれているかどうか確認してください。

あなたのハーネスのプロテクションのCE認証は下記の認証機関により実施されました:

CRITT Sport Loisirs nr. 0501, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault - FRANCE

このページをあなたのエヴォライトハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

製造番号:

購入日付	
購入者氏名	
販売店名・印	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検 <input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	



SUPAIR-VLD
Parc Altaïs
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE
info@supair.com
+33(0)4 50 45 75 29

45°54.024'N / 06°04.725'E

輸入者 ファルホークインターナショナル株式会社
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<http://www.falhawk.co.jp> Email:info@falhawk.co.jp



SUPAIR
LIFE IS IN THE AIR